

令和8年8月17日

【受八議第 202 号】

八頭町議会議長

川西 美恵子 様

2 番 八頭町議会議員 小 原 徹 也

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質問事項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1 移住・定住 人口の取組に ついて	(1) 本町の行政運営と具体的取り組み方を問う。 私は、基本構想の中で、最初に出てくる目的が「行政の進む道だ」と考えます。本町も行政の取組メニューが示されていますが、果たしてどれだけ、その方向性をトレースできているのか？様々な計画は、各部署の問題を積み上げてその解決方向を示しているが、全部が全部、同列で取り組むわけではありません。取捨なしながら優先順位を決めていませんか？分野、セクションを超えて共通の項目はあるはずです。しかし行政は縦割りの為、うまく連携できずパワー不足や無駄が生じている事が往々にして見受けられます。 その辺の調整がうまく取れているのか否か、職員の意識高揚も含めて、どう舵取りをして行くのか、執行部の役割だと思います。 あと、職員のやる気を出させるのも、やる気を削ぐのも、人事評価に尽きると思います。それは風通しとも言いましょうか、適切な人事とその評価がチーム力に大きく作用し、職員へのきめの細かいリサーチが、必要ではないかと感じています。 執行部と議会の役割は、アクセルとブレーキだと、よく言われますが、仮に両者が同時にアクセルを踏み切ってしまうと、それこそ最悪です。そこを踏まえて、町長が公約に掲げられた移住・定住について質問を行います。	町長

ア 町長の考える移住・定住とは具体的にどのような方をターゲットに考えられていますか？
例えば、鳥取県内にある近隣市町村の方なのか？
または、全国を見て都市部の方なのか？
町長の考えをお伺いします。

イ 町長は、本町から就学や就職で町外並びに県外へ出た方を呼び戻すお考えの上で、移住・定住対策を進められるのでしょうか？お伺いします。

(2) 戦術と戦略は！

人口増に関わる取り組みは、全国の大小の自治体に限らず、どこも取り組んでいて、どこの自治体も突破口はなく、悩ましい状況にあります。この状況下で、思いや構想で解決できるような簡単な問題ではなく、具体的なターゲットと戦略がなければならぬと感じます。町長の政策と政治戦略をお伺いします。

ア 「移住・定住を見据えた、子育て居住環境を整備する」と、選挙でも公約されています。働く場は、移住・定住の1丁目1番地ですが、働く場の確保について、具体的な発言はなかったと記憶しております。どうお考えか？お伺いします。

イ 本町だけの自主財源を使った、大きな単独事業はできないでしょう。結果、国や県からの交付金や補助金に頼るしかないが、その中で、県庁の方を副町長へ招き、迎え入れられましたが、県庁とのパイプが、重要だと判断されての判断でしょうか？お伺いします。

ウ 町長の考える町づくりを行うためには、少し強引にでも事業の財源を集める努力が必要ですが、町長は、近隣市町村とは異なる、政治戦略をどう考えておられるのかお尋ねします。

エ 来年は、知事選挙と県議会選挙が、予定されていますが、先ほどより質問してきた公約実現に、停滞はないのか？町長のやるべき公約は、すぐに前へ進める必要があると考えます。認識をお伺いします。